



JICA 北海道 開発教育・国際理解教育支援メニュー

開発教育・国際理解教育や国際協力、SDGs に関する学びにご関心のある方へ



独立行政法人 国際協力機構

Japan International Cooperation Agency



世界を知ること
それは
自分を知ること



JICA 北海道 開発教育・国際理解教育支援メニュー

開発教育・国際理解教育や国際協力、SDGs に関する学びにご関心のある方へ



JICA 北海道



独立行政法人 国際協力機構

Japan International Cooperation Agency





JICAって？

「信頼で世界をつなぐ」を合言葉に、国際協力を行う日本の政府系機関です。
開発途上国の課題解決に協力し、持続可能な開発目標 (SDGs) の達成に貢献しています。



開発途上国に協力できる
知識や技術を持った人がいます。



開発途上国と日本をむすぶ
架け橋となって働いています。



世界人口の 8 割の人が
さまざまな課題を抱えています。

北海道のチカラを、世界へ。

国際協力機構北海道センター(以下「JICA 北海道」)は、政府開発援助 (ODA) 事業の北海道の拠点として、日本政府や、各地方自治体、教育機関、NGO、NPO、市民団体、民間企業等と連携した国際協力事業として、開発途上国からの研修員の受入事業、JICA 海外協力隊事業、開発教育支援事業、国際協力・国際交流イベント等を実施しています。
また、地域の方々にこれらの事業を紹介し、国際協力に対する理解を含めていただくために、パネル展、講演会等さまざまな広報活動も行っています。

世界をもっと身近に考える。

海外と国内の双方に現場を有する JICA は、開発途上国での開発事業で得た「知見の還元」と、世界の現状と課題について「考える機会の提供」を目的として、開発教育支援事業を実施しています。
子ども達が開発途上国と日本とのつながりを知ることで、途上国の問題をジブンゴトとして感じ、学び、気づきを得られるように、JICA 北海道では様々な開発教育支援メニューを用意しています。
総合的な学習の時間、修学旅行、教員向け研修等、教育現場の様々な場面で是非、ご活用ください。

SDGs 達成に向けたJICAの取り組み



食料増産

2.3倍

人口増加に伴い、コメの消費量が急増しているアフリカ。JICAでは日本の稲作技術を生かし、サブサハラ・アフリカにおけるコメの生産量を2.3倍に拡大させた。(基準値1,400万トンと2021年収穫量3,230万トンとの比較)



母子手帳
34カ国

2,200万冊

戦後、日本で作られた母子手帳は、1990年以降、各国の実情に見合った形に改良され、年間発行数(2020年JICA推計)は約2,200万冊。母子の健康の記録として活用されている。



学びの改善

70,000校

学校、保護者、地域社会と協働して子どもの学習環境を改善するJICAの「みんなの学校」プロジェクト。アフリカ9か国で約7万校を対象に展開し(2022年10月時点)、子どもの基礎学力を飛躍的に向上させた。



安全な水への
アクセス

8,400万人

給水施設整備支援による給水人口(1999～2022年度累計)。安全な水を持続的に供給するために、水道や井戸の整備、行政能力や利用者組合設立など、ハードとソフト両面の支援が行われている。



防災

83,000戸

2015年のネパール地震後に緊急住宅復興事業を通じて再建した住宅戸数(2015～2019年度)。「より良い復興(Build Back Better)」の実現に貢献した。



青年海外
協力隊

52,270人

青年海外協力隊(現・JICA海外協力隊)の累計派遣人数(1965～2024年12月末)。JICAでは、青年海外協力隊の他にも、シニア海外協力隊など、開発途上国のために役立ちたいと望む方を世界各国に派遣している。

▼ 国際協力や開発途上国の話を聞きたい方へ

▶国際協力出前講座 P.9 ～ 10 ▶訪問プログラム P.7 ～ 8

▼ 外国人と交流したい方へ

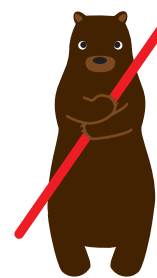
▶研修員学校訪問(異文化交流プログラム) P.13

▼ 生徒・学生対象のプログラムをお探しの方へ

▶国際協力体験プログラム P.14

▼ 教員向けのプログラムをお探しの方へ

▶開発教育／国際理解教育指導者研修 P.11
▶教師海外研修 P.12



JICA 北海道（札幌）

JICA 北海道（札幌）は、道央・道北・道南地域（石狩、空知、後志、胆振、日高、上川、留萌、宗谷、渡島、檜山各管区）における国際協力の拠点として、1996 年 4 月にオープンしました。併設の「ほっかいどう地球ひろば」は、世界のことを学べる体験型施設です。SDGs「持続可能な開発目標」について考える展示や、企画展を開催しています。



食べて知る異文化

「レストランカフェ・地球こうさてん」



「楽しみながら世界を知り、食べ、交流できる」レストランです。

食べることで 20 円（開発途上国での給食一食分）を寄付できる Table For Two メニューや、様々な開発途上国の料理を提供しています。「食ること」から、国際協力の一步を気軽に踏み出せます。



今自分にできること

フェアトレードショップ

フェアトレードとは、開発途上国の原料や製品を適正な価格で継続的に購入することで生産者や労働者の生活改善と自立を目指す「取引のしくみ」です。世界を知って、買い物を通した国際協力をはじめませんか？



ほっかいどう地球ひろば

知って、繋がって、変えるゾーン

ゾーン

A

世界の国とこんにちは！

「世界を知る」がテーマのゾーン A では、民族衣装やパネル展示を通じて、世界の多様性や課題、北海道とのつながりについて理解を深められます。

ゼロモニュメント

いったいこの数字は、何をあらわしているのかな？ひろばを見学して、答えを見つけてみよう！



世界の民族衣装



世界各国の民族衣装を実際に体験できます。見て、着て、知って、その国を感じてみよう！

ゾーン

B

教えて！ 世界で起きていること

「世界とつながる」がテーマのゾーン B では、2015 年に国連サミットで決められた「持続可能な開発目標（SDGs）」の各課題を見て、触れて、わかりやすく知ることができます。



ゾーン

C

レッツチャレンジ！

「世界を変える」がテーマのゾーン C には、企画展示室があり、1ヵ月～3ヵ月ごとに変わる国際協力や SDGs 理解促進に関わる企画展示、プログラムに参加した児童・生徒の作品展示を行っています。国際協力や SDGs に向けた様々な展示を見ながら、ご自身が取り組めるアクションを考えてみませんか。



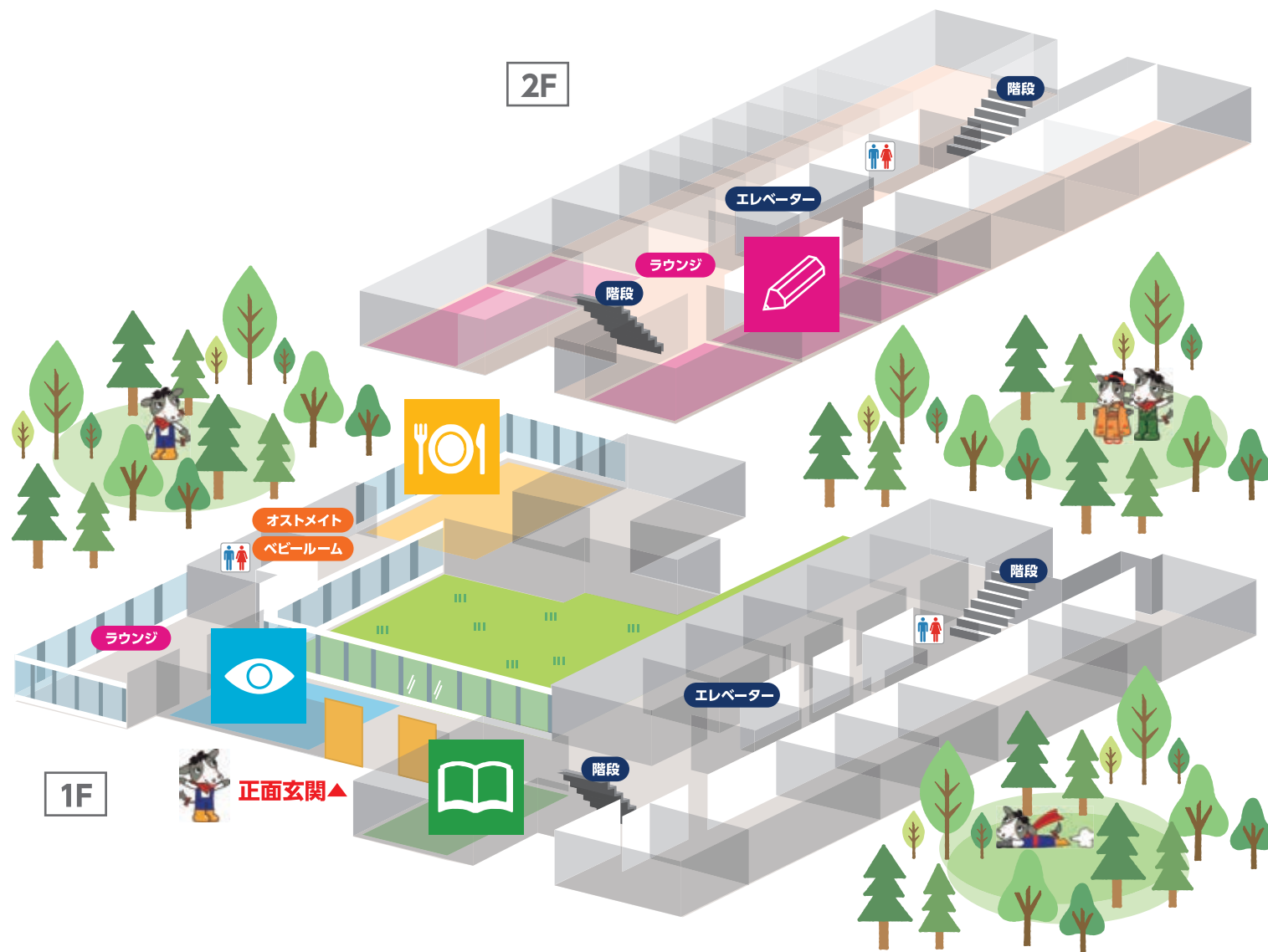
JICA 北海道（帯広）

JICA 北海道（帯広）は道東地域（十勝、釧路、オホーツク、根室各管区）における国際協力の拠点として、1996 年 4 月にオープンしました。道東地域と開発途上国の結節点として、途上国の課題解決に取り組むとともに、市民参加型の国際協力を推進することで、地域活性化や地方創生にも貢献しています。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

2F



1F

正面玄関▲

セミナールーム

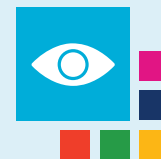
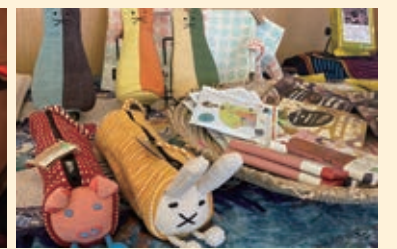
海外からの研修員への講義や、開発教育のプログラムなどで使用します。一般の方々も、国際協力や国際理解教育を目的とする研修会等にご利用いただけます。



世界の料理が味わえるレストラン

「おびくっく」

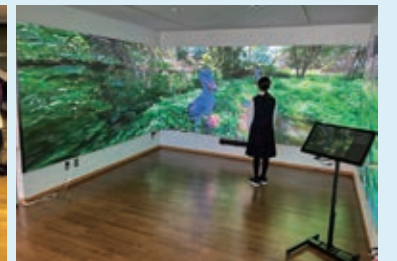
一般の方々もご利用いただけるレストランです。手頃な価格で国際色豊かな料理が楽しめます。四季の移ろいを感じられるテラス席が人気です。2022 年からは、フェアトレードコーナーを新設、買いもので国際協力ができます。



SDGs や世界の課題を学べる展示スペース

「おびるっく」

世界の出来事を見て、聞いて、触れて、体験できる展示スペースです。「持続可能な開発目標」(SDGs)の常設展示や世界の映像を体験できる3面スクリーンのほか、季節ごとにテーマを入れ替えて展示をしています。



体験コーナー

3 面スクリーンで世界を体験！体験映像コーナー
SDGs について楽しく学べる常設展示コーナー



世界の衣食住や国際協力について学べる図書館

「おびぶっく」

世界の文化、各国情報、国際理解教育、国際協力に関する図書資料や雑誌のほか、英語の漫画、DVD などもあり、貸し出しも行っています。

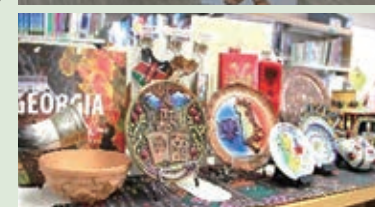
【開館時間】

火～金 13:00～18:30
土 10:00～17:00



教材もたくさん！

アクティブラーニングに活かすことのできるワークショップ集や事例集も充実しています。



世界を知ってつながろう!

JICA 北海道(札幌)

訪問プログラム



JICA 北海道(札幌)に併設される「ほっかいどう地球ひろば」は、世界のことが学べる体験型施設です。地球案内人（専属ガイド）による体験ゾーン見学や JICA 海外協力隊の体験談・開発途上国や SDGs 理解につながるワークショップなどと組み合わせたプログラムがご利用できます(予約制)。

また、お一人からでも参加できるミニツアーも通年で開催しています。

お申込書はこちらからダウンロードできます▶



活用事例

SDGs 学習
総合的な学習
キャリア教育
教員研修
長期休暇の課題学習
探究活動 など

●申込方法

申込書を QR コード又はほっかいどう地球ひろば HP からダウンロードし、必要事項を記入の上、見学希望日の 1 ヶ月前までに下記連絡先までお申し込みください。受付後、担当者よりご連絡いたします。

ほっかいどう地球ひろば予約デスク(青年海外協力協会)
電話番号：011-866-1515 FAX：011-866-1516
E メール：hokkaido@joca.or.jp

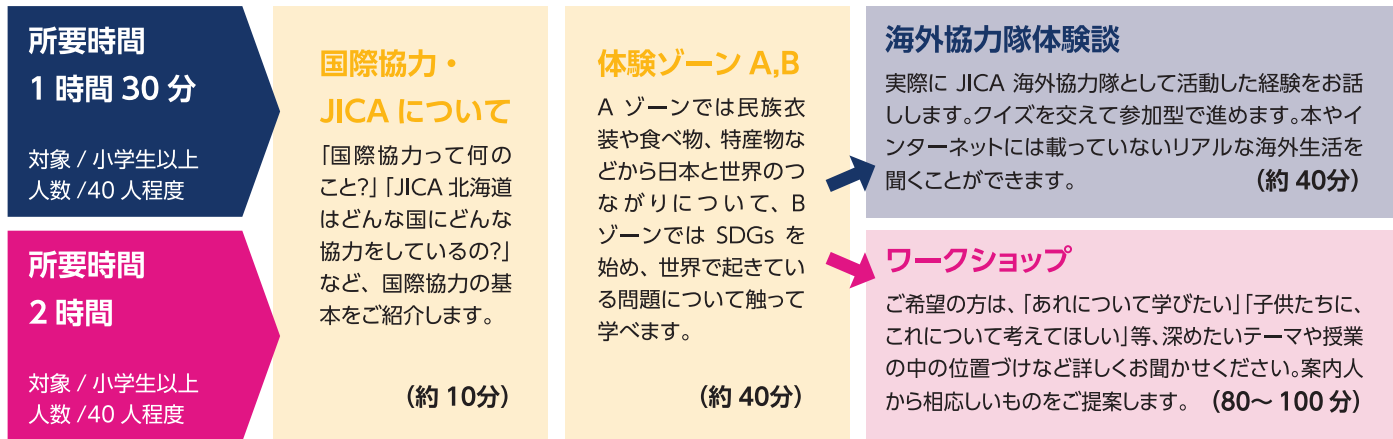
●事前・事後学習 15 ページをご覧ください。

●実施日 平日(年末年始を除く)

訪問プログラムについて

※ご希望のお時間や参加者に応じプログラム内容の調整も可能です。まずはご相談ください。
※オンラインツアーの対応も可能です。ご相談ください。

プログラム(例)



食べる!国際協力!



ほっかいどう地球ひろば団体訪問の際、ご利用いただける昼食プログラムです(要問い合わせ)。アフリカで一般的な給食メニューを提供します。アフリカの子供たちが食べている給食を実際に口にすることで、楽しく、食の多様性・異文化理解へつなげることを目指します。

ウガンダ給食プログラム

お申込み・お問い合わせ

レストランカフェ「地球こうさてん」
電話 011-866-8676(レストラン直通)
※店舗が混雑する昼の時間帯(11:00～14:00)はお電話にすぐに出られない場合があります。予めご了承ください。

世界の今を知って、考えて、行動しよう!

JICA 北海道(帯広)

訪問プログラム



訪問プログラムではガイド付きで館内を見学する事ができます。また、JICA 事業紹介、国際協力体験談、ワークショップなどの内容を組み合わせて、ご希望に応じたさまざまなプログラムのアレンジが可能です。

遠方で見学が難しい場合、オンラインでの見学やプログラムの実施が可能ですのでお問い合わせください。

お申込書はこちらからダウンロードできます▶



活用事例

SDGs 学習
総合的な学習
キャリア教育
教員研修
長期休暇の課題学習
探究活動 など

●申込方法

申込書を QR コード又は JICA 北海道(帯広) HP からダウンロードし、必要事項を記入の上、見学希望日の 1 ヶ月前までに下記連絡先までお申し込みください。受付後、担当者よりご連絡いたします。

JICA 北海道(帯広) 訪問プログラム担当
電話番号：0155-35-1210 FAX：0155-35-1250
E メール：obihiro_event@jica.go.jp

●事前・事後学習 15 ページをご覧ください。

●実施日 通年(土・日・月・祝祭日)を除く

●人数

最大受入人数 30 名まで対応可能です。
※30 名以上の場合はご相談ください。

訪問プログラム(例)

※ご希望のお時間や参加者に応じてプログラム内容の調整も可能です。まずはご相談ください。





国際協力関係者から聴く！

国際協力出前講座



●申込方法

次頁の申込書に必要事項をご記入の上、用紙に記載の宛先に講演希望日の1か月前までに E メールまたはファックスでお申込みください。QR コード又は JICA 北海道 HP から用紙をダウンロードできます。講師決定にお時間をいただくことがありますので、ご了承ください。

●対象

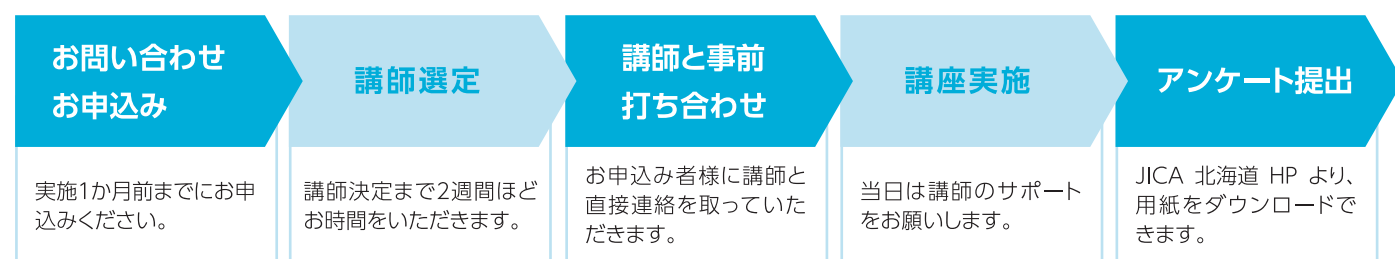
学校、教育機関、地方公共団体、民間の国際交流団体など

●費用

講師の謝金・交通費につきましては、原則としてお申込み団体のご負担をお願いします。目安は一人当たり1時間4,600円(JICA 規定に基づく)です。学校や自治体における講師謝金単価基準がある場合は、そちらに基づきご相談ください。



詳しくはウェブサイトにて



講演内容(例)

小学6年生	総合「SDGs を通じて世界を知ろう」
中学2年生	キャリア教育「世界で働くことを知る」
高校2年生	選択科目「JICA 海外協力隊体験談から考える私たちにできる国際協力」

JICA 海外協力隊とは？

JICA は、国際協力の志を持った 20 ～ 69 歳の日本国籍を持つ方を開発途上国に派遣し、草の根レベルで開発途上国の発展に貢献しています。JICA 海外協力隊は発足より 50 年が経ち、のべ 5 万人を超える方々が参加しています。自分の持っている知識や技術・経験を活かし、原則 2 年間派遣されます。1 か月から参加できる短期ボランティア制度もあります。

詳しくはウェブサイトにて



JICA 地球ひろば（東京）にてオンライン出前講座を行っております。講師が JICA 内部人材（JICA スタッフ、派遣中の JICA 海外協力隊等）の場合は原則無料で実施します。

詳しくはウェブサイトにて



※対面の出前講座については、JICA 北海道(札幌・帯広)の所管地域問わず、右ページ申込書にて受付いたします。



JICA 北海道 国際協力出前講座 講師紹介要請書

申込日： 年 月 日 (希望日の少なくとも1か月前までにお申込みください)

学校・団体名					
担当者名(ふりがな)					
住所	〒				
電話		FAX			
E-mail					
希望日時	第1希望	年	月	日 ()	時 分～ 時 分
	第2希望	年	月	日 ()	時 分～ 時 分
実施場所	☐ 学校・団体所在地に同じ ☐ その他(名称・住所:) 最寄り交通機関: (バス・地下鉄・JR) 線 駅・停留所				
対象者(学年)		対象人数			
講演の目的(必ずご記入ください)	* カリキュラム・活動の中での位置づけ、ねらい等				
科目・講義名称					
希望講演テーマ					
希望講演内容(いずれかに☑してください)	☐ 青年またはシニア海外協力隊等のボランティア体験談を聞きたい ☐ 途上国での生活・文化・国事情などについて聞きたい ☐ JICA 事業・政府開発援助 (ODA)・国際協力・SDGs 等について知りたい ☐ その他 ()				
申込の背景(JICA 事業活用実績など)	* 教育関係者は、貴校での国際理解教育への取り組み(内容、年間計画、ねらい等)について、可能な範囲で記入または資料を添付ください。また、講師派遣にあたり事前または事後の学習予定について、記入または資料を添付ください。				
※留意事項※【費用について】(必ずお読みください)		【講師謝金に関して】(空欄にご記入ください。)			
JICA ボランティア経験者他、外部講師の紹介を希望される場合は謝金をご準備ください。(謝金については、学校や自治体における講師謝金単価基準がある場合は、そちらに基づきご相談ください。)単価基準がない場合は、目安として一人当たり1時間 4,600 円(JICA 規定に基づく)と交通費の実費をご負担いただきます。		講師謝金: _____ 円 (貴団体基準または JICA 基準) 交通費: ☐ 支給あり 上限 _____ 円 ☐ 支給なし ※直接事前打ち合わせを希望する場合は、別途交通費負担をお願いいたします。 その他 ()			

【お申込み先】以下宛先にメールまたは FAX でお申込みください。

青年海外協力協会 JICA 北海道担当 (JICA より開発教育支援業務受託)	E-mail: hokkaido@joca.or.jp FAX: 011-866-1516
--	--

※JICA のホームページ等に写真を掲載させていただく場合がありますのでその旨ご了承ください。

※申込みを受けてから 2 週間を目処に受入の可否について回答いたします。

※状況により講師の調整ができず、変更をお願いする場合があります。

※出前講座の実施に関して、児童・生徒等の参加者が負傷する等の損害が発生したときは、JICA 又は講師の故意又は重大な過失による場合を除き JICA 及び講師は責任を負わないものとし、当方(要請元)の責任において解決することに同意します。

明日の授業に生かせる!

開発教育 / 国際理解教育指導者研修

開発教育指導者研修

教員研修の開催を検討している方へ

JICA 北海道では、開発教育・国際理解教育を授業等で実践することを目的として、指導者向けに、参加型の学習の体験・実演、国際理解教育の概要説明などを行っています。研修の主催等をご検討されている方は、JICA 北海道(札幌・帯広)開発教育担当まで、お気軽にご相談ください。

●対象

各自治体、教育委員会、NGO / NPO 関係者、学校など



＜過去の実施例＞ 札幌市教育委員会・・・札幌市教育センター専門研修「国際理解教育」
北海道立研究所・・・持続可能な開発のための教育(ESD)研修(オンデマンド)
三笠市教育委員会・・・国際理解教育 途上国での子どもの生活実態や教育の現状について～水・環境問題～
苫小牧市教育委員会・・・国際理解教育研究部会研修 ワークショップ
十勝教育研修センター・・・十勝教職員研修講座 ワークショップ
※本年度の開催については、JICA 北海道(札幌・帯広)までお問い合わせください。

学校単位での申込みお待ちしております!(要相談)

実践者向けの研修(初めての方～実践を目指す方)

自身のスキルアップを検討されている方へ

日本と開発途上国とのつながりや、世界の課題への理解を促すためのワークショップを体験していただけます。また、参加型手法の習得、教材・授業の分析・検討等を通して、国際理解教育を実践するためのスキルアップを図るものです。教員同士のネットワークの構築にも活用いただき、道内の学校現場における国際理解教育の実践を支援します。

●開催時期

年4回
詳しい日程や内容はHPをご確認ください。

●場所

JICA 北海道センター/オンライン

●対象

開発教育・国際理解教育に関心のある方

●応募方法

HPをご確認ください。



詳しくはウェブサイトにて



新しい教材づくりの第一歩に

教師海外研修

開発教育・国際理解教育に取り組まれる教員の皆様が、実際に開発途上国を訪問することにより、開発途上国が置かれている現状や国際協力の現場、開発途上国と日本との関係に対する理解を深めていただき、帰国後は訪問によって得た成果を活用し、学校現場での実践等を通じて、次代を担う児童・生徒の教育に役立てていただくことを目的として実施しています。また、本研修終了後、教育現場で開発教育・国際理解教育に取り組む中核人材として活躍いただくことも狙いとしています。

実施時期、研修派遣先、募集方法等に関しては、HP または随時発行する募集要項をご覧ください。



参加教員の募集 (4月～5月)

全道より
8名程度募集



派遣前研修 (6月～7月)

参加型手法を
使った授業作り
を学ぶ



現地研修 (7月～8月)

現地で「人」に
出会う
5感で味わう



帰国後研修/ 授業実践 (9月～10月)

参加型手法を
活用した授業を実践



成果報告会 (11月～12月)

研修の概要や
作成した授業を
参加教員が発表



詳しくはウェブサイトにて



学校で外国人の方との交流機会を提供

JICA 研修員学校訪問(異文化交流プログラム)



●内容

道内に在住する外国人、または、開発途上国から日本の技術を学びに来たJICA研修員が学校を訪問し、児童・生徒と交流します。

JICA研修員の来日状況によりプログラム内容は変更する場合がありますので、ご了承ください。

●会場

事前応募された学校に訪問します。

●日程・応募方法

HP上に募集要項の詳細を掲載いたします。QRコードからウェブサイトへアクセスの上、ご確認ください。

●対象

北海道内の小・中・高等学校・特別支援学校
※対面での実施の場合、実施可能な地域が限定されます。ご了承ください。

JICA 研修員や日本に在住する外国人の方との交流を通じて、外国や異文化に関する児童・生徒の興味・関心を引き出し、国際理解から国際協力への基礎を築きます。



JICA 研修員とは？

JICA の実施する技術協力の一環として、開発途上国政府からの要請に基づき、日本で専門的な技術を学ぶために来日している、開発途上国の行政官や技術者など、国造りを担うリーダーとなる方々です。

JICA の行う多文化共生支援とは？

日本で働く外国人材は年々増加しています。外国人も日本人も活躍できる、安心安全で多様な機会が全ての人に与えられる社会の実現のため、外国人労働者のより適正な受入れを支援したり、帰国した外国人材の母国での活躍・貢献を応援したり、様々な取り組みを進めています。



<札幌>



<帯広>

詳しくはウェブサイトにて 🔍

仲間と一緒にふみ出す、国際協力の第一歩！

国際協力体験プログラム



●日程・会場・プログラム・応募方法など

単日開催や 1泊2日で合宿形式の開催、オンラインでの開催等、様々な形でプログラムを計画していますので、詳しくは JICA 北海道までお問い合わせください。
(QRコードより、申込ページをご確認ください)

●対象

国際協力・SDGs・異文化理解に関心のある小学生～高校生

国際協力に関心のある道内の児童・生徒を対象に、国際理解につながるモノづくりや地球規模の課題に触れるワークショップなど、様々な体験型プログラムを実施します。北海道各地から集まる仲間たちと、国際協力について考える一日を過ごしてみませんか？

夏休み

単日

小学生編
(札幌センター)

単日

中・高生編
(札幌センター)

冬休み

合宿形式

高校生編
(札幌センター)

合宿形式

中・高生編
(帯広センター)

<過去の実施例>

●小学生向けプログラム

札幌／オンライン・・・中米グアテマラのアルフォンブラ(おがくずをつかったアート作品)作りに挑戦！ 等

●中学生高校生向けプログラム

札幌・・・JICA 海外協力隊の訓練から活動までを疑似体験(1泊2日合宿開催)

旭川・・・トランプを使った異文化コミュニケーション体感ゲームを通じて、私たちに出来ることを考える

帯広・・・JICA 研修員や現地スタッフ(オンライン)とランチ交流! グループワークで意見交換しよう

オンライン・・・ワークショップ・グループワークを通してプラスチックごみについて考える

グローバル社会を生き抜く力・成長の芽を育みます。

- ・地球ひろばのライブツアーで世界を知る。
- ・仲間とグループワークで考えを深める。

- ・外国の文化や習慣に直接触れる。
- ・JICA 海外協力隊の体験談で開発途上国の現地の様子を学ぶ。



▲中米グアテマラのアルフォンブラ(おがくずを使ったアート作品)作り



<小学生プログラム(札幌)>

詳しくはウェブサイトにて 🔍



<中高生プログラム(札幌)>

詳しくはウェブサイトにて 🔍



<中高生プログラム(帯広)>

詳しくはウェブサイトにて 🔍



世界を体感!

世界の民族衣装貸し出し



JICA 北海道では、JICA のパートナーである様々な開発途上国の民族衣装を展示しています。

この民族衣装は、最大 10 点まで貸し出しが可能ですので、学校の授業や学内の掲示、国際イベントなどにぜひご活用ください。

活用事例

小学校「スーホの白い馬」
養護学校小学部「世界のなかま」
総合的な学習の時間
JICA 海外協力隊の体験談と併せて
など

●申込方法

JICA 北海道までお問い合わせください。
(QR コードより、申込ページをご確認ください)

●対象

- ・小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、大学等の教育関係機関
- ・その他当機構が適切と認めた個人または団体など



<札幌>



<帯広>

詳しくは
ウェブサイトにて



SDGs や北海道の国際協力について学ぶ

展示パネルの貸し出し



SDGs について学ぶ概要パネルや、北海道発の国際協力を紹介したパネルを学校の授業やイベントで活用しませんか?

民族衣装と同様に最大 10 点まで貸し出しを行っています。

活用事例

町文化祭での SDGs 展示
文化祭での国際協力紹介展示
図書室での関連図書紹介
など

●申込方法

JICA 北海道までお問い合わせください。
(QR コードより、申込ページをご確認ください)

●対象

- ・小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、大学等の教育関係機関
- ・その他当機構が適切と認めた個人または団体など



<札幌>



<帯広>

詳しくは
ウェブサイトにて



より良い学習のために

事前・事後学習の例

ほっかいどう地球ひろば／JICA北海道(帯広)訪問プログラムや国際協力出前講座の学習効果をより高めるために事前事後学習をおすすめします。

事前学習

■ねらい

世界について関心をもつ
世界の課題に気付く
疑問をもつ

プログラム実施

■ねらい

世界の現状を知る
世界の中の自分に気付く
自分の可能性に気付く

事後学習

■ねらい

伝える力を高める
行動する力を高める
学ぶ意欲を高める



世界を学ぶ

教材の提供・閲覧

JICA 北海道では、開発教育・国際理解教育に関する教材・資料を提供・閲覧することができます。

学校現場などですぐにお使いいただけますので、ぜひご活用ください。

ホントは身近な途上国とわたしたちの暮らし
「つながる世界と日本」



途上国と日本とのつながり、世界共通の目標「SDGs」や国際協力について、クイズを交えながら分かりやすく紹介しています。小学校高学年～高校生まで学習教材としても活用いただけます。

「持続可能な開発目標」について知る
「私たちが目指す世界」



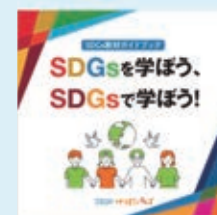
SDGs とは何か? 「持続可能性」って何? この目標が私たちの生活にどう関わっているのか。できることは何かを考えることができます。

SDGs×国際協力を知る教材
「共につくる私たちの未来」



SDGsの基本を、日本の国際協力や各国の子どもたちの紹介を交えて学べる教材です。

SDGs 教材ガイドブック
SDGs を学ぼう、SDGs で学ぼう!



JICA 地球ひろば作成の SDGs 関連教材を 1 冊にまとめた教材ガイドブック (DVD 付) です。授業で役立つ映像教材やアレンジして使えるデジタル教材をぜひご活用ください。

「生きる力」を育む
国際理解教育実践資料集



教員向け資料集です。それぞれの学習内容ごとに、中学校の学習指導要領や ESD 学習の分野との関連、学習のポイントや内容を分かりやすく解説する教員用ページと、コピーして配れる生徒向けページで構成されています。

小 6 社会 教員用授業ガイド
どうするどうなる地球社会



小学校 6 年生社会科の「国際理解」単元で、JICA が持っている情報で先生が学び、開発途上国の写真や動画など生きた資料を使って授業ができる、国際理解教育授業ガイドです。どの教科書でも活用いただけます。



データダウンロードはこちらから

送付をご希望の場合は、JICA北海道までご連絡ください。



JICA地球ひろば 先生・生徒のお役立ちサイト

映像教材、冊子教材、広報誌の他、国際理解教育の実践事例や学習指導案もご覧いただけます。

■JICA 北海道(札幌)

〒003-0026 北海道札幌市白石区本通 16 丁目南 4-25
TEL : 011-866-8333(代表) FAX : 011-866-8382
[https:// www.jica.go.jp/sapporo/](https://www.jica.go.jp/sapporo/)

●地下鉄をご利用の方

<東西線>

「南郷 18 丁目駅」より徒歩 12 分。

●バスをご利用の方

<JR 北海道バス>

バス停「下白石」より西側に徒歩 2 分。

<北海道中央バス>

バス停「白石本通 16 丁目」で下車、
バス停目の前。
系統 72「札幌駅前」～「JR 平和駅前」
1 時間に 1 本運行



■JICA 北海道(帯広)

〒080-2470 北海道帯広市西 20 条南 6 丁目 1-2
TEL : 0155-35-1210(代表) FAX : 0155-35-1250
[https:// www.jica.go.jp/obihiro/](https://www.jica.go.jp/obihiro/)

●バスをご利用の方

<拓殖バス>

①「帯広の森線」西 19 条 6 下車、
徒歩約 15 分

②「南商業高校線」国際センター入り口下車、
徒歩約 5 分

(注)「南商業高校線」は国際センター入り口に
停車しない時間帯があります。
その場合は西 19 条 6 で下車してください。

<十勝バス>

③「環状線きた回り」西 20 条 6 下車、
徒歩約 5 分



お問い合わせ先一覧

連絡先		
JICA 北海道(札幌) 開発教育担当	TEL:011-866-8421 FAX:011-866-8382 hkictp@jica.go.jp	開発教育・国際理解教育支援メニューに関するお問い合わせはこちら
JICA 北海道(帯広) 開発教育担当	TEL:0155-35-1210(代表) FAX:0155-35-1250 obictp-event@jica.go.jp	
ほっかいどう地球ひろば 予約(青年海外協力協会)	TEL:011-866-1515 FAX:011-866-1516 hokkaido@joca.or.jp	ほっかいどう地球ひろばへの訪問、出前講座、民族衣装・パネルの貸出の予約はこちら
レストランカフェ 地球こうさてん	TEL:011-866-8676	ウガンダ給食 Table For Two フェアトレード商品) については こちら
旭川デスク	TEL:0166-22-8805 jicadpd-desk-asahikawashi@jica.go.jp	各地域のデスクにもお気軽にお問い合わせください
苫小牧デスク	TEL:070-9385-1368 jicadpd_desk_tmk@jica.go.jp	
北見デスク	TEL:080-9525-1332 jicadpd_desk_kitami@jica.go.jp	
釧路デスク	TEL:080-2571-7523 jica_kushiro_desk@jica.go.jp	

■あなたに身近な JICA の窓口(各地域デスク)

国際協力推進員は、JICA が実施する事業に対する支援、広報及び啓発活動の推進、自治体の国際協力事業との連携促進等の業務を行うために、自治体が実施する国際協力事業の活動拠点に配置されています。出前講座や国際理解についてお気軽にご相談ください!



世界を知ること
それは
自分を知ること



JICA 北海道

2025 年 3 月版

リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

